

事業所における自己評価表（公表）
（児童発達支援）

公表：令和 7年 3月21日

事業所名 上ノ国町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容によって部屋を使い分ける、物の配置を変える等して、適切なスペースの確保に努めています。	
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		・法令基準を満たして配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		・スケジュールやタイムタイマーで活動の流れや取り組み時間を知らせる、パーテーションを利用し空間を整備する、わかりやすい言葉で伝える、写真や絵カードを利用して伝える等、本人がわかりやすい環境となるよう心掛けています。	・利用児にとって何が必要で、どんな環境が過ごしやすいかを日々考え、見直しをしながら、適切な環境となるよう努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・衛生面に気を配り、定期的に清掃・消毒、こまめな換気等を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・他の職員の意見を取り入れながらPDCAサイクルを繰り返し回すことにより、ブラッシュアップできています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			・事業所評価アンケートの結果は、職員間で共有し、日々の業務改善につなげていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			・職員間で話し合い、その結果を事業所としての自己評価とし、上ノ国町ホームページにて公表しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は行っていません。	・各町からの意見等をふまえ、職員間でその都度見直しを行いながら、業務改善に努めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		・職場内研修、外部研修、オンライン研修等を活用し、職員の資質向上のため研修の機会を設けております。	・今後も積極的に研修会に参加しやすい環境を整備（時間の確保等）していきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			・アセスメントを行い、利用児と保護者のニーズや課題に沿った計画を作成するよう心掛けていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			・事業所内で統一したシートを使用し、適切なアセスメントとなるよう努めていきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・利用児の年齢や発達状況等をふまえ、適切な支援内容を設定するよう努めていきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○			・適切に支援が行われているかを随時確認しながら、支援の提供に努めていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員間で話し合う時間を設け、子ども達が楽しんで行える活動を考えています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・療育の記録を見返しながらプログラムが固定化しないように考えていますが、身につけにくい活動は、あえて同じプログラムを提供し、積み重ねられるようにしています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか。	○			・今後も適宜組み合わせられるよう努めていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○		・職員間で打ち合わせをし、支援の内容を共有、確認しながら療育を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・職員間で支援を振り返り、気づいた点を共有し、支援の検証・見直しを行っています。また、気がついたことや疑問に感じたことなどは随時確認するようにしています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・療育終了後に必ず記録をしています。また、取り組んでみて上手く伝わらなかった部分については、次回どんな取り組み方にするかを記入するようにしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○		・半年に一度見直しの機会を設けています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			・今後も利用児の状況を把握している者が参加し、相談支援事業所との連携に努めます。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○			・随時、関係機関と連携を図りながら取り組みを進めていけるよう心掛けていきます。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。		○	・現在、対象となる子どもの利用はありません。	・看護師を配置していないため、医療的ケアが必要な子の受け入れはしておりません。重症心身障害のある子ども等に対しては、随時関係機関と連携を図りながら取り組みをしています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。		○	・現在、対象となる子どもの利用はありません。	・看護師を配置していないため、医療的ケアが必要な子の受け入れはしておりません。重症心身障害のある子ども等に対しては、随時関係機関と連携を図りながら取り組みをしています。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・センターで気になる様子があった場合や、保護者から要望があった場合等に情報交換を行っております。	
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者から要望があった場合等に情報交換を行っております。	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			・必要に応じて助言が受けられるよう他機関との連携に努めていきます。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流をする機会があるか。		○		・保育所等との併行通園をしておりますので、交流の機会は特に設けておりませんが、必要に応じて随時検討していきます。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			・今後も児童発達支援管理責任者が各種会議等に参加していきます。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・個別懇談や送迎の際、個別のお便りなどを通し、子どもについて共通理解を図れるよう心掛けています。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。		○		・定期的な支援は行っておりませんが、必要に応じて対応するよう努めていきます。
	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			・利用前面談や契約時に丁寧な説明をするよう心掛けていきます。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			・今後も適正な「個別支援計画」を作成するよう努めていきます。
	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談を受けた場合は、適切に対応するよう心掛けています。	・相談等につきましては、迅速に対応するよう努めていきます。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○		・保護者同士のつながりを作る場として、参加者が少人数であっても茶話会を実施するよう努めていきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			・苦情等に関する相談体制につきましては、契約書に記載している他、玄関に掲示しております。 ・相談等の申し入れがあった場合には随時対応させていただきます。迅速かつ丁寧に対応するよう心掛けていきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月「ひまわり便り」を発行し、行事予定やセンターに関するお知らせ等を通知しております。	・必要な情報をお届けできるよう心掛けていきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○		・十分注意をするよう職員間で確認を徹底しております。	
	③⑨	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・送迎時のやり取りや、療育の状況を2ヶ月に一度お便りとして配布したり、年に3回療育参観を行い、療育での様子をお伝えしております。	・今後も、口頭でのやり取りやお手紙等により、適切な情報伝達ができるよう心掛けていきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・上高ボランティアに来てもらったり、センター祭りの際に他町の保健師等にお手伝いをしてもらっております。	・地域住民を招待するようなイベントは特にありませんが、今後も継続して上ノ国高校のボランティア局の生徒との交流の機会は設けていきます。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・救命講習等を行い、非常時に対応できるよう努めております。	・各種マニュアルは、いつでも閲覧できるよう玄関に備え付けております。また、救命講習等につきましては、定期的の実施するよう努めていきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年に数回、避難訓練や救命講習等を実施しております。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者からの聞き取りを徹底し、対応を確認しております。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○		・ 保護者に必ずアレルギーの有無等について確認を行い、職員間で情報を共有しております。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○		・ 事例を共有し予防ができるようにしております。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・ 定期的に職場内（外）の研修を受講したり、チェックリストを用いて日々の行動を見返す等の虐待防止に向けた取り組みをしています。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・ マニュアルに沿って適切に対応するよう努めていきます。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。